

助成金活用のご紹介

計画的な人材教育のために

人材開発支援助成金とは、労働者の職業能力開発を効果的に促進するため、職業訓練などを段階的かつ体系的に実施する事業主に対して助成される制度です。

この助成金制度には、特定訓練コースと一般訓練コースの2つがあります。特定訓練コースは、1コースの訓練時間数が10時間以上のOff-JT研修、一般訓練コースは、20時間以上の研修が対象となります。

データセンター業界を支える人材を育成するDCPROのコースメニューには、受講時間要件を満たすコースもございます。企業内の教育支援体制の整備など、いくつかの条件を満たせば、研修費用のほか、受講時間などに対する賃金の助成を受けられる場合があります。

人材開発支援助成金の手続きは、各都道府県の労働局で行います。詳細は、厚生労働省のWebサイトからご確認ください。

例：特定訓練コース

コース名 | DCDA
 受講時間 | 21時間 (3日間)
 受講料 | 242,000円(税込)

	賃金	経費	支給額
中小企業	760円×21h =15,960円	242,000円 ×0.45 =108,900円	=124,860円
大企業	380円×21h =7,980円	242,000円 ×0.30 =72,600円	=80,580円

人材教育
戦略
Strategy



助成金
活用
Subsidy